

県立高等学校再編整備基本計画（平成 21 年度～平成 25 年度）（概要版）

広島県高校教育改革推進協議会答申 H13.10

県立高等学校再編整備基本計画 H14.3 [目標年度：平成 15 年度～平成 20 年度]

県立高等学校再編整備基本計画（平成 21 年度～平成 25 年度）

魅力と活力ある県立高等学校づくりの推進

特色づくりの推進

適正規模化の推進

普通科
コースを9校へ設置
設置校の成果や課題を分析し、教育内容の充実を図るとともに廃止を含めた見直しを行う

専門高校・専門学科
拠点校
6校を指定、施設・設備の整備
農業、工業、商業の各分野におけるリーディングスクールとしての役割をより一層発揮させる
職業教育を推進するセンターとしての機能を充実させる
新しいタイプの専門高校
総合技術高等学校を設置
複数の専門学科からなる学校としての成果や課題を分析した上で、既設校の改編による同様のタイプの学校を設置することについて検討
普通科と併設する専門学科
4校6学科を廃止
近隣の専門高校への統合や併設する普通科の教育内容の一部への組入れなど、必要な見直しを行う
総合選択制の専門学科については、学科改編を検討

総合学科
12校を設置
キャリア教育の視点に立った取組の充実や、生徒のニーズにあった教育課程の編成を図るとともに、普通科への移行を含めた見直しを行う

中高一貫教育校
併設型1校、連携型3校を設置
広島中・高等学校に本県教育のリーディングスクールとしての役割をより一層発揮させる（併設型）
6年間を通じた取組の成果を検証し、今後の在り方を検討（併設型）
既設校の教育内容の充実を図るとともに、連携する中学校の進学状況等を踏まえ、今後の在り方を検討（連携型）

定時制・通信制課程
全ての定時制課程を単位制とし、履修形態の多様化・弾力化を図った
定時制の1校1課程を募集停止
定時制既設校の成果を踏まえ、単位制の特長を活かした教育内容の充実を図るとともに、地域の実態等に配慮しつつ統合を検討
通信制課程の高等学校が設置されている地域では、定時制・通信制課程を統合した学校を、交通至便な場所へ設置することについて検討
通信制課程では定時制課程との併修等教育内容の充実を図るとともに、上記の定時制・通信制課程からなる学校への統合を検討

適正規模化の考え方
県立高等学校の規模及び配置の考え方（H11）
効果的な教育活動を展開する等の観点から適正規模は1学年4～8学級を踏襲

適正規模化の推進
9学級以上の大規模校16校の適正規模化、小規模校7校の生徒募集停止
1学年8学級以下の維持
適正規模化を推進するため統廃合を実施
その際、中山間地域と都市部とにおける近隣校までの距離や公共交通機関の利便性等の相違にも十分に配慮

統廃合の考え方

1学年1学級規模の学校
当該学校の在籍状況（入学率など）、地元中学校の進学状況（地元率など）等を勘案しつつ、統廃合を進める

1学年2学級又は3学級規模の学校
今後の生徒数の推移等を見ながら、近隣校との統廃合を検討する
ただし、近隣に高等学校がない場合にあっては、1学年1学級規模となった段階で、前記により取り扱う

1学年4学級規模以上の学校
1学年4学級規模以上の学校であっても、交通の利便性が高い地域等においては近隣校との統廃合を検討する

「」印はこれまでの実績 「」印は今後の方向性

（資料編）
広島県高校教育改革推進協議会答申（H13.10）（抜粋）
県立高等学校再編整備基本計画（H14.3）
専門高校・専門学科再編整備第1次実施計画
広島県における高校教育改革の動向
広島県の在籍児童生徒数減少率
県立高等学校数・小規模校等占有率
県立高等学校配置図